

# 2020年度 国公立大入試結果展開図

2021年度入試で**大規模改革**を予定⇒具体的な制度設計の遅れ⇒都市部を中心に浪人できない不安から**国公立大を敬遠**

(2019年11・12月)共通テストでの「英語外部試験の一括利用」「国・数の記述式問題」見送り⇒**志望動向は戻らなかった**

センター試験志願者数は2年連続減少

2020年度 2019年度 2018年度  
55.8万人 ← 57.7万人 ← 58.3万人

現役 -12,715人(-2.7%) 18歳人口微減、国公立大敬遠  
既卒等 - 6,416人(-5.7%) 入試改革への不安で浪人回避

センター試験: 現役志願率ダウン(センター試験離れ)  
現役占有率アップ(既卒減少)

2020年度 2019年度 2018年度  
現役志願率 43.3% ← 44.0% ← 44.6%  
現役占有率 81.1% ← 80.6% ← 81.3%  
女子占有率 43.7% ← 43.7% ← 44.1%

センター試験予想平均点(900点満点)

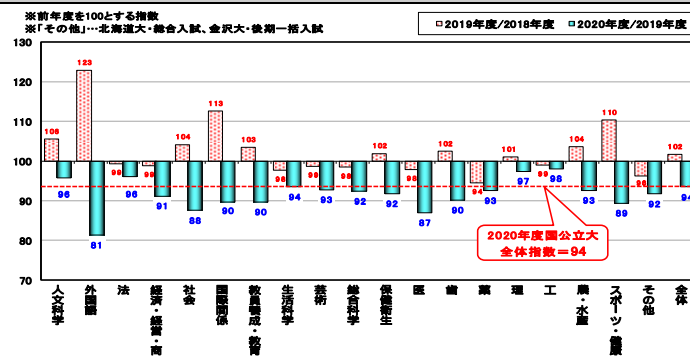
文系5教科8科目平均点...548点(得点率 60.9%) **-22点**  
理系5教科7科目平均点...559点(得点率 62.1%) **-17点**

一層の弱気な出願傾向や国公立大への出願断念を誘発

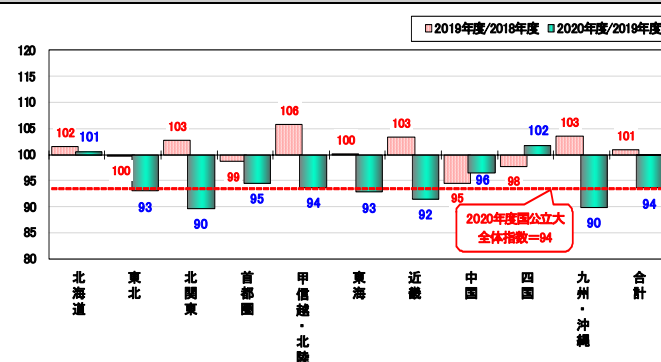
志願者数は前年度8年ぶりに増加も**再び減少**へ  
前年度対比指数=国立大(93)、公立大(95)

個別(2次)試験志願者数 **443,066人** (前年度比**-30,492人**:前年度対比指数 **94**)

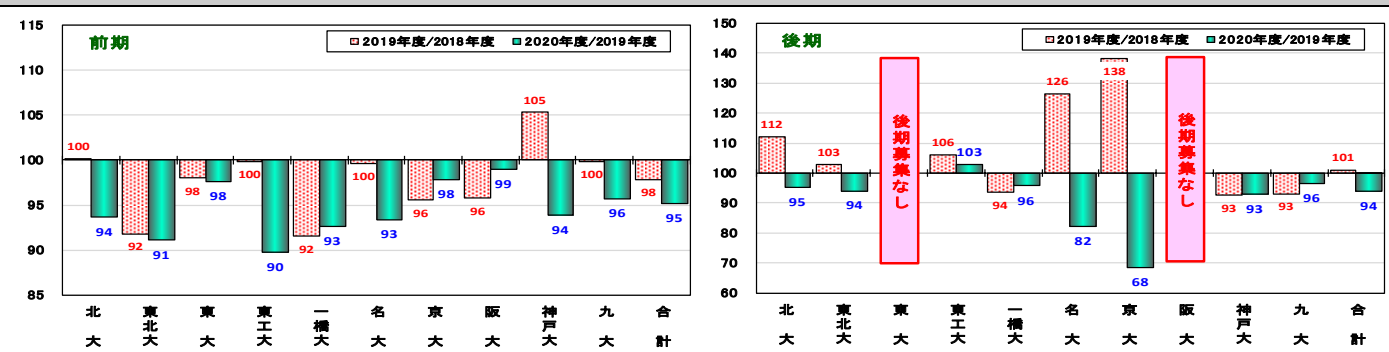
【系統別志願状況】全系統で減少、文系とメディカル系の減少が目立った、その中で工学系は微減に留まった



【地区別志願状況】北海道、四国を除き減少、特に北関東、九州・沖縄の減少が目立った



【難関国立10大学志願状況】前期はすべて減少、東工大、東北大の減少が目立つ/後期は東工大を除いて減少



【医学部医学科志願状況】前期は6年連続減少、後期は2年ぶりに減少

	2020年度	増減数	指数	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度	2015年度
志願者数	前期	14,741	-1,849	90	16,390	17,064	18,093	18,342
	後期	7,405	-1,876	82	9,081	8,969	9,927	10,073
	合計	22,146	-3,325	87	25,471	26,033	28,020	28,415
志願倍率	前期	4.10		4.50	4.64	4.89	4.99	5.20
	後期	16.31		17.33	16.64	18.35	18.12	18.85
	合計	5.47		6.11	6.18	6.61	6.70	7.09

<志願者数減少要因>

- 後期募集廃止大学の増加
- 医学部医学科入学定員増→現役合格率アップ→既卒受験生減少
- 好調な就職状況→理系成績上位層が他系統(情報系)を志望
- 地域枠増加による大都市部受験生の志望校選択幅の縮小
- センター試験の平均点ダウン→医学系出願断念(特に、後期日程)